

友よ!



東京・石中会だより

第15号

令和元年
復興計画
- 発展期 -
特集号

発行 東京・石中会広報委員会 事務局 / 〒154-0024 世田谷区三軒茶屋2-56-7-906
相澤 貞止方 TEL & FAX/03-3412-9759 事務局メールアドレス t-sekichukai-tk@jcom.home.ne.jp
令和元年6月1日

「川 湊 石 巻」と「半 島 沿 岸 部」

— 新たな魅力と活力ある石巻の実現に向けて —

「令和元年を期に新たな出発を」



東日本大震災から8年の月日が経ちました。そして平成の激動の時代を乗り越えて改元を迎え新たな時代が始まりました。

東京・石中会会員の皆様には日頃の支援ご協力を頂き感謝の気持ちでいっぱいでございます。心より御礼申し上げます。

昨年度は15周年を記念して「東京・石中会の集い」を盛大に開催し、「教育講演会」では病理医師の赤塚誠哉氏に基調講演をお願いいたしました。

今年度は先輩の方々の今まで積み上げてきた財産に少しでも新しい形でお役立ちができればと考えております。その一つとしましてHPをリニューアルいたしました。まだまだ発信力が弱く努力をしていかなければなりません。皆様

に愛されるHPにしていきたいと思います。皆様からの情報提供をよろしくお願い申し上げます。

今回も石巻市より寄稿を頂きました。毎年石巻の復興状況や未来に向けた取り組みについては大変心強く感じております。

東京・石中会は令和という新たな節目に「会員の親睦」、「石巻中学校への応援」、そして「故郷いしのまきの明るい未来」に向けて心を新たに活発に活動してまいりたいと考えております。引き続き皆様のご指導を賜れば幸いに存じます。

令和元年5月
東京・石中会 会長 加藤友成

あいさつ



皆様におかれましては、日頃より本市の復興に御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災から8年が経過いたしました。復興公営住宅の整備完了により「住まいの再建」は一定のめどが立ち、他のインフラ整備も着実に進んでいるところであります。

復興期間も残り2年を切り、被災された方々の暮らしも少しずつ平穏を取り戻しつつありますが、全国的な傾向と同様に、本市においても人口減少・少子高齢化が大きな課題となっていることから、新たな産業の創出や人材育成、安心して子育てができる環境づくりに努め、新たな魅力と活力ある石巻の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、皆様の力強い御支援・御協力をお願い申し上げます。

結びに、貴会の今後ますますの御発展と会員の皆様の更なる御活躍をお祈り申し上げ、挨拶いたします。

令和元年5月
石巻市長 亀山 紘

川湊石巻の再生 — 旧北上川河畔の現在とこれから —

～川湊の成り立ちと今～

旧北上川河口は、古くから水運・舟運の要衝として「川湊」の役割を担ってきました。石巻のまちも川湊の繁栄とともに発展し、今に至ります。しかし、東日本大震災では津波が河口を遡ったことで、沿岸部のみならず川沿いから市街地へ水が押し寄せ、広範囲に甚大な被害をもたらすこととなりました。これを受け、国・宮城県・石巻市では安全性確保のため沿岸部と川沿いに堤防を整備することとしましたが、それによりこれまで築き上げた「川湊」としての歴史と川との関係性が薄れてしまうことが懸念されました。

そこで、安全性を確保しつつ旧北上川との関係性を保ち、「川湊」としての復興を果たすために、国・県・市の協働による「かわまちづくり」を進めてきました。震災から7年がたった今、「川湊石巻」は古くからの賑わいを新しい形で取り戻しつつあります。「川湊石巻」の復興まちづくりについて、これまでの過程と現在の様子を航空写真でご紹介します。

中央地区

～被災直後から現在まで～

中央地区では、市民や観光客が集える憩いの場を提供するため、川とまちをつなぐ新たな空間と交流施設の整備を進め、平成30年9月に「かわまち交流センター」がオープンしました。

その南側では、復興住宅と分譲マンション、デイサービスを組み合わせた「リバーサイドMOTOMACHI」が整備されました。

また、中瀬地区は全域が災害危険区域に指定されましたが、震災復興のシンボルとして公園整備を進めています。



現在とこれから

平成29年6月にいしのみき元気いちば(民間)がオープンし、同年11月に立体駐車場・バス駐車場、平成30年6月に交通広場が完成しました。また、中瀬地区では既存の公園エリアが災害復旧事業により震災前と同等の整備が行われています。

今後も、交流人口の増加や賑わい創出による中心市街地活性化を目指します。



南浜・門脇地区

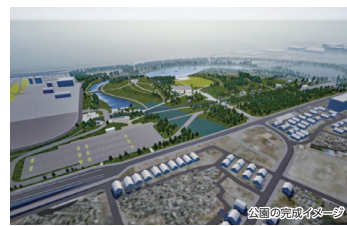
南浜地区は、「石巻南浜津波復興祈念公園」の整備が着々と進み、また、市民団体による植樹のための苗木の育成や伝承活動などを行っています。

門脇地区では、平成30年8月に土地区画整理事業に伴う工事が完了し、竣工式典が執り行われました。



これから

平成32年度内の完成を目標に、石巻南浜津波復興祈念公園と、南浜・門脇地区と湊地区を結ぶ鎮守大橋の整備を進めます。



湊地区

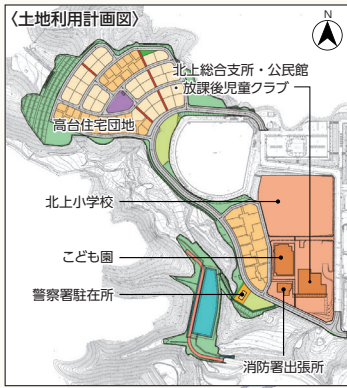
湊地区では、住宅用地や産業用地の整備を進めるとともに、河川堤防天端に整備する歩行空間と連携したまちづくりを進めます。



これから

引き続き、住宅用地や産業用地の整備を進め、コミュニティの維持と産業振興基盤の再生を目指します。

北上にっこり地区



北上にっこり地区では、にっこりサンパークとその周辺に住宅地や市役所総合支所等の公共公益施設、小学校などを集約して整備し、北上地域の生活拠点を形成します。

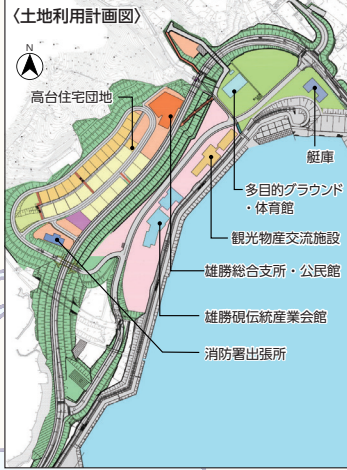
北上にっこり地区では、復興の加速化と活性化を図るために、新たな拠点づくりを進めています。地区内には、住宅団地のほか、公民館と放課後児童クラブを併設した北上総合支所、こども園、消防署出張所、北上小学校を集約して整備します。また、地区の周辺に既存の野球場、テニスコート、北上中学校があることから、住宅団地と各種公共施設が一体となった利便性の高い地区を形成します。



地域の復興を支える 半島沿岸部3拠点の整備

雄勝中心部地区

雄勝地域の中心部であった伊勢畑地区に、住宅地や市役所総合支所等の公共公益施設、商業施設、観光施設、運動施設を整備し、利便性の高い中心的な拠点を再生します。



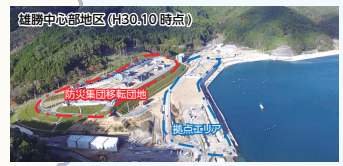
観光物産交流施設

雄勝中心部地区の観光物産交流施設は、地元特産の海産物の展示販売や地元文化芸能を核としたイベントなどを開催し、観光客への地域紹介の場及び地域内外の方が訪れるにぎわいの場を整備することで、交流人口の増加が期待されます。



雄勝硯伝統産業会館

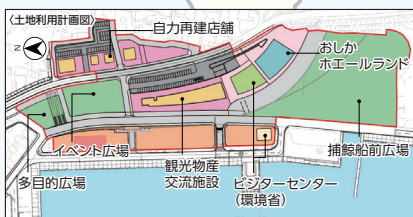
雄勝硯伝統産業会館は、雄勝の伝統工芸品である雄勝硯について、雄勝石の採掘の様子や雄勝硯の製造工程などを様々な形で紹介したり、硯の歴史文化などを学んだりすることができる施設です。



◆事業スケジュール
平成31年9月：観光物産交流施設完成予定
平成32年3月：雄勝硯伝統産業会館完成予定

鮎川浜地区

地域の観光拠点であるおしかホエールランドを再生し、商業施設や旅客船関連施設等を集約して整備することで、牡鹿地域の観光拠点を整備し、鮎川浜のにぎわいを再生します。



観光物産交流施設

鮎川浜地区の観光物産交流施設は、地元特産の海産物の展示販売、くじら祭りの開催、全国的に知名度の高い霊場「金華山」への発着場として、地域内外の方が訪れるにぎわいの場を整備することで、交流人口の増加が期待されます。



◆事業スケジュール
平成31年8月：観光物産交流施設完成予定
平成32年3月：おしかホエールランド完成予定

おしかホエールランド

おしかホエールランドは、捕鯨の歴史と文化を知ることができる施設です。捕鯨船前広場と共に再整備され、観光交流の一端を担います。

